

令和4年度 地域活性化活動助成事業報告書

萩市立川上小学校 地域・学校活性化推進部 活動報告

1 はじめに

萩市立川上小学校のある萩市川上は、人口約900人、約400世帯で、萩市の南東に位置し、東西約12.5km、南北約14km、総面積約95km²の地域です。

地域の87%を森林が占め、林業が盛んで、杉や檜の造林が盛んです。平成元年に建築された校舎は、地域の杉や檜の間伐材も使われており、木のぬくもりが伝わってきます。谷あいを開けた農地では米や玉ねぎなどが生産され、山の傾斜地や水田を利用した柚子の栽培も盛んで、その加工品は地域の特産物となっています。

地域や保護者の学校に寄せる関心や期待は大きく、学校も、地域と共に、また地域に貢献できる学校を目指しており、これまで助成金をいただくことで取組が充実してまいりました。

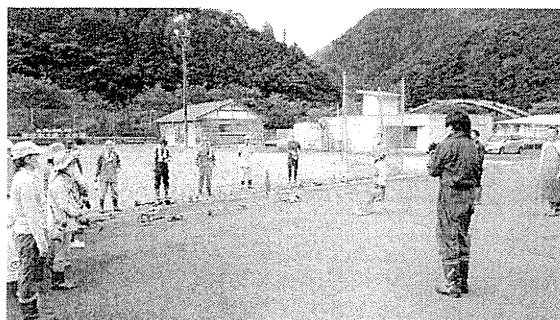
分離型小中一貫教育校として2年目を迎え、地域貢献できる学校づくり・川上小だからこそできる感動体験をテーマに活動してきました。特に、ふるさとまつりや運動会など、地域行事と学校行事の一体化念頭に、PTAや学校運営協議会との連携の下、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、様々な活動を展開することができました。

2 活動の概要・様子

① 地域清掃

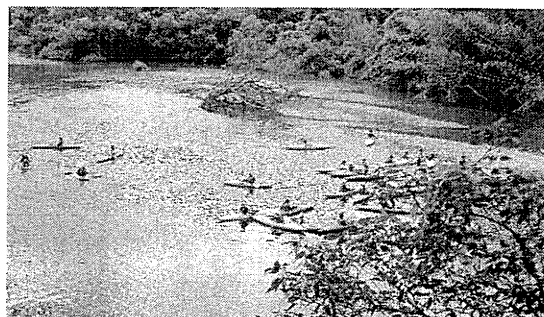
過疎化が進んでおり、学校横の河川堤防や地域が管理する公園の整備も人手不足で難しく地域の困り感もありました。

小中の保護者と地域住民の有志、学校は小中管理職で活動を行いました。参加者数を心配していましたが、例年並みの人数となり予定通り作業ができました。



② カヌー「阿武川くだり」

川上小・中の学校運営協議会主催で、カヌーによる阿武川くだりを行いました。安全に運営するためにカヌーの出発場所や係留箇所を事前に確認し、草刈りを行いました。



③ 鼓笛隊

昭和40年から続く活動です。

本年度は、2年ぶりに「川上ふるさとまつり」が開催されました。

子どもたちは「地域のために」を合言葉に練習を重ね、素晴らしい演奏を行いました。

まつりでは、地域内外の多くの方から温かい拍手をいただきました。



④ その他

9月の自由参観日・夏休み作品展に合わせて、教育会の広報活動を行いました。保護者、地域の方々に知っていただくよい機会となりました。



3 おわりに

本年度、地域活性化活動奨励事業から助成金をいただき、学校だけではできない、様々な活動を行うことができました。特に、地域の方と一緒に活動できたことは、子どもたちだけでなく、教職員にとっても地域貢献のよい機会となりました。

このような活動を行うことができたのも、山口県教育会の皆様の支えがあったからこそと心から感謝しております。

来年度も、川上ならではの感動体験を子どもたちと一緒に進めることができるよう努めます。